

2016年6月20日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第20号

リオ市内市立病院を武装集団が襲撃

当地主要紙「オ・グローボ」電子版「G1」によれば、6月19日午前3時頃、リオ市内セントロ地区の市立病院（救急指定病院）に25人の武装集団が押し入り、入院していた逮捕中の麻薬密売組織幹部を奪還しました。また、その際に、軍警察との間で銃撃戦に発展し、死傷者が出ています。

1 発生日時

6月19日（日）午前3時頃

2 発生場所

リオ市セントロ地区、ソウザ・アギアール市立病院

（当館注：リオ市内最大の救急対応市立病院で、オリンピック・パラリンピック期間中は、マラカナン競技場周辺からの救急指定病院となっている）

3 発生状況

上記日時において、拳銃、ライフル、手榴弾等で武装した麻薬密売組織のグループが上記市立院に押し入り、入院していた麻薬密売組織幹部（Nicolas Labre Pereira de Jesus 当館注：6月13日に文民警察により逮捕、その際に負傷して同病院に入院中）を奪還した。容疑者らが病院を出る際に、軍警察官との銃撃戦に発展し、居合わせた患者1名が流れ弾に当たり死亡したほか、同軍警察官1名、看護師1名が負傷した。

軍警察副司令官によれば、リオ州公安局では、同襲撃に係る事前情報を得ており、軍警察5人による緊急警備を実施していた。

【留意事項】

- （1）当館から、事件発生場所を管轄する州軍警察所に対して、同種医療施設の警戒警備を徹底するよう依頼しています。
- （2）常に周囲に気を配り、危険を感じたら安全を確保する退避行動を取りましょう。
- （3）銃声を聞いた場合は可能な限り低い姿勢を取り、不用意に動かないようにしましょう。

